第 78 回愛鳥週間

令和 6 年度 野生生物保護功労者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 総裁賞（1 件）

都道府県	被表彰者	功績概要
千葉県	長谷川（はせがわ）　博（ひろし）	1） 絶滅の危機に瀕していた大型の海鳥アホウドリを種の再生に導くため、1976 年から 2018 年まで 42 年間にわたって、毎年繁殖地である伊豆諸島鳥島に通い、繁殖集団のモニタリング調査を継続した。モニタリング項目は、繁殖つがい数と巣立ちひな数の全数調査と個体数カウントで、これらの情報は科学的に保全事業を計画・立案し、それらを実施して結果を評価し、計画を修正・改訂することに尽力した。 2） 繁殖集団の増減を毎年定量的に表し、繁殖集団の動向を予測した。すべての巣立ちひなに足環標識を装着して個体識別し、それらを長期にわたって追跡調査し、繁殖開始年齢や死亡率、配偶様式、繁殖周期、一腹卵数、性比、成鳥の繁殖参加率など、集団生物学的特性を明らかにした。 3） 繁殖状況の調査により、繁殖成功率の低下が明らかになった。原因は、火山灰の堆積した急傾斜地にある営巣地での裸地化と推論し、この仮説にもとづき、営巣地に植物を移植して好適な営巣環境を造成する保全計画を提案した。1981 年と 1982 年の環境庁(当時)による移植の結果、巣立ちひな数は 1977 年の 15 羽から 1985 年の 51 羽に急増し、繁殖成功率は移植前の平均 44%から移植直後は 50%、さらにその後は 67%と改善された。 4） 1987 年の秋、台風の大雨による泥流が営巣地に流れ込んだ影響で、繁殖成功率が再び 40%台に低下した。この事態に対処するため、1） 砂防工事を実施して泥流を防止し、再び植物を移植して繁殖成功率を改善し、2） 成長して鳥島に帰ってきたときに、デコイと音声を利用して、島の北西側の泥流のおそれのないなだらかな斜面に誘引して新しい営巣地の形成を人為的に促進することを提案し、環境省、東京都、山階鳥類研究所による実施でどちらも成功させた。 5） 多くの人々の協力により、2018 年 5 月に 688 羽のひなが巣立ち、鳥島集団の総個体数は推定で 5,165 羽になったことを明らかにした。その年の 11 月には、島内の 3 ヶ所の営巣地で、繁殖つがい数 1,011 組、成鳥・若鳥合計 1,645 羽を確認した。調査を始めた 1976 年には、総個体数が推定で 200 羽未満、繁殖つがい数約 42 組、巣立ちひな数が 15 羽、観察個体数 71 羽だったので、42 年間でおよそ 25 倍に増えた結果を得られた。 6） 鳥島のアホウドリ集団は指数関数的に成長し、1979 年から 2018 年までの 39 年間に平均して年率 7.77%で増加してきた。鳥島集団の成長は、増加への抑制効果がまだ現れていないため、回復過程の初期の段階にあり、今後も成長することを示す。2026 年前後に鳥島集団の総個体数は 10,000 羽に達し、再発見から 100 年後の 2050 年には数万羽になることが予想され、野外での科学的研究と長期にわたる保全活動によって絶滅危惧種を再生へと導くという実例の一つを示すことができた。

2. 環境大臣賞（4 件）

都道府県	被表彰者	功績概要
広島県	ひびの　まさひこ 日比野　政彦	1）広島県鳥獣保護管理員として、違法に飼育されている野鳥の鑑定業務を担い、警察と連携しながら野鳥の保護のために 14 年間従事している。 2）長年にわたり地域で探鳥会を開催し、愛鳥保護思想普及教育のため地域の学校に赴き、児童や生徒を指導している。 3）国などが行う公共工事の際に、協議会等の委員として適切な意見を述べ助言を行うことにより、自然環境の保全に努めた。 4）広島県野生生物保護検討会委員として絶滅のおそれのある野生鳥類調査に長年携わり、レッドデータブック作成などに尽力した。
沖縄県	どき　かつひこ 土城　勝彦	1）本業であるペット診療を行う傍ら、野生動物全般の救護要請を受け入れており、鳥類を中心に 30～40 種の野生動物を年間 100 件ほど救護・保護している。 2）特にカンムリワシの救護・保護に尽力しており、交通事故などにより負傷したカンムリワシの搬送を積極的に受け入れ、野生復帰を目標としてほぼ無償で救護にあたっている。 3）沖縄県災害時動物救護対策委員に所属しており、鳥インフルエンザの対応や生化学・免疫分析装置の導入受け入れと検査の実施も担っている。
鹿児島県	あくねしりつ 阿久根市立 わきもとしょうがっこう 脇本小学校	1）校区内の下村海岸（脇本海水浴場）に産卵に訪れ、絶滅危惧種に指定されているアカウミガメとシロチドリの保護・観察活動を行っている。 2）地域の方が保護したアカウミガメの卵の孵化後の放流体験や海岸の清掃活動、マイクロプラスチック回収実験、漂着ごみの種類等を調査する活動を行っている。 3）脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会との連携した野生生物や植物保護についての学習や、ウミガメ保護活動をしている鹿児島県日置市立伊作小学校との交流、令和 5 年度かごしま水族館主催のかごしま子どもウミガメサミットでの県下 4 小学校との意見交換を行った。
宮城県	がん　さとおやともかい 雁の里親友の会	1）長年にわたり、ガン類の渡りに関する情報や飛来地に関する情報を関係者や現地へ提供するなど、ガン類の保全活動のための基礎調査情報を提供し続けている。 2）標識の提供及び装着を行ってきており、日本に飛来するガン類の渡りの経路や越冬地の利用状況の解明に寄与した。 3）調査等によって得られたガン類や渡り等の科学的知見について、一般の方に広く理解してもらうために、自然観察会の実施や絵本、紙芝居等のツール作りにも力を入れている。

3.文部科学大臣賞（2 件）

都道府県	被表彰者	功績概要
富山県	入善町立（にゅうぜんちょうりつ） 上青小学校（じょうせいしょうがっこう）	1）昭和 52 年に 5、6 年生が「文化財愛護少年団」の団員となり、沢スギ林内のスンバ拾いを行う活動を実施し、平成 24 年からは 1～4 年生が沢スギに親しむ日として年 2 回の「沢スギの日」を設け、教科等の学習を行っている。 2）令和 2 年度には学校で幼木を育て、沢スギ林内に植樹した。令和 5 年度に平成 14 年度に作ったビオトープを 4 学年の総合的な学習の時間で学習材として再整備し、児童がビオトープに生息した生物を調べ集会で全校児童に発表した。 3）自生の菊咲き性品種として全国で 2 例目になる珍しい「入善乙女キクザクラ」を増殖するため、平成 29 年に上青小学校の校庭に 3 本植樹した。
愛媛県	松山市立（まつやましりつ） 垣生中学校（はぶちゅうがっこう）	1）生徒が地域住民と協力して年に 2 回、地域の「今出ヶ浜地域潮騒を守る会」が主催する今出ヶ浜の海岸清掃に参加し、海岸に生息している生物の保護活動や地域住民の環境保全意識の高揚に大きく貢献している。 2）令和 5 年度アラスカを中心とした野生生物や自然等の写真撮影で著名な写真家の松本紀生氏を講師に招き「いのちのつながり」と題した講演会を開催し、野生生物の保護や地球環境の大切さなどについて啓発を行った。

4.林野庁長官感謝状（1 件）

都道府県	被表彰者	功績概要
宮城県	石巻市立（いしのまきしりつ） 北上小学校（きたかみしょうがっこう）	1）愛鳥モデル校として、餌木植樹のためのマウンド作りや餌木植樹活動、巣箱づくり活動を行った。 2）なぜ湿地に生きものが集まるのか、北上川の特色であるヨシ原と野鳥の関係について学び、北上川沿いで冬鳥の観察を実施し野生生物保護意識を高めた。 3）東部地方振興事務所、宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部、石巻地区森林組合、一般社団法人ウィーアーワン北上、石巻・川のビジターセンターと協同で活動に取り組んでいる。

5.公益財団法人 日本鳥類保護連盟会長賞（3 件）

都道府県	被表彰者	功績概要
群馬県	清水（しみず） 伸彦（のぶひこ）	1）野鳥の会入会以来、50 年超の豊富な経験と知識を活かし、会の主催する探鳥会等の行事参加者に対し、積極的な指導・活動を行っている。 2）1997 年より 27 年間、群馬県からの委託業務「鳥類生息密度調査」に協力・実施している。
新潟県	山田（やまだ） 清（きよし）	1）希少鳥類保護と生息環境保全に向けて新潟県野鳥愛護会が実施してきた調査において長年資料の収集に協力し、特にフクロウ類とサシバの保護対策調査においては、成果のまとめに尽力した。 2）コサギの採食生態調査を行い、主に採食行動となわばりについて本邦初となる詳細な分析結果を日本鳥学会誌に公表し、奨学賞が授与された。 3）国土交通省阿賀野川河川事務所への協力として野鳥保護の観点からの情報提供や助言を行い、新潟県委託鳥獣保護対策調査の実施と取りまとめにおいて中心的な役割を果たしている。 4）学童を対象とした探鳥活動の講師や機関紙『野鳥新潟』を通して野鳥観察の楽しさや保護やモニタリングの大切さを伝え続けている。
兵庫県	伊丹市（いたみし） 公益財団法人（こうえきざいだんほうじん） いたみ文化（ぶんか）・ スポーツ財団（ざいだん）	1）伊丹市昆虫館においてオガサワラハンミョウをはじめとする国内希少野生動植物種の域外保全活動に取り組み、累代繁殖に成功した。 2）オガサワラハンミョウの飼育を通算 13 年にわたって継続する他、平成 27 年から 29 年には飼育個体の一部の野生復帰を行い、産卵や次世代が確認されており、環境省が小笠原に設置した施設以外で飼育に取り組む唯一の施設として生息域外個体群の確率・維持へ貢献している。 3）絶滅危惧昆虫の現状や保全の取り組みについてさまざまな形で幅広く普及啓発活動を続ける他、有識者会議への参加を通した情報提供など、行政機関の取り組む保護増殖事業に協力している。

6.環境省自然環境局長賞（4 件）

都道府県	被表彰者	功績概要
京都府	田子（たご）　稔（みのる）	1）日本野鳥の会京都支部会員として探鳥会、室内例会の実施や桂川鳥類調査への参加と取りまとめを行った。 2）2006 年から 2011 年まで淀川管内河川レンジャーとして河川パトロール及び自然保護活動、自然観察会や小学校での講演・指導を行い、2008 年には河川の美化や身近な生物の保全を目的とした「桂川クラブ」の設立を行った。 3）2011 年から現在に至るまで、淀川管内河川レンジャーアドバイザーとして自然保護活動や自然観察会、小学校での講演・指導、河川レンジャーの育成・指導、「桂川クラブ」の運営を行った。
佐賀県	岩崎（いわさき）　一男（かずお）	1）佐賀野鳥調査研究会調査員として野鳥についての実態の調査を行い、佐賀野鳥の会会員として調査し、1997 年と 2004 年に「佐賀の野鳥」の発行に尽力した。 2）佐賀野鳥の会会員として県内の探鳥地で観察会を開き、野鳥保護のためのマナー等について参加者に周知や指導を行った。 3）これまでに得られた調査結果や活動経験を活かし、2006 年度から現在まで、佐賀県内の小中学校、高等学校において「野鳥観察学習」の授業実践を数多く実施している。 4）2023 年佐賀県美術展の洋画部門に大型の切り絵を初出品し、入選作品「東よか干潟の鳥たち」で有明海干潟の保全と、干潟へ渡ってくる野鳥保護を来館者に訴えた。
滋賀県	甲賀市立（こうかしりつ） 甲南第三小学校（こうなんだいさんしょうがっこう）	1）日常的な野鳥観察や季節ごとに見られる野鳥の調査、観察結果の記録を行っている。 2）朝学習の時間に週 1 回「愛鳥の時間」を設定し、愛鳥教育に関する活動を行っている。 3）年 2 回春と冬の「野外観察会」では周辺の観察と記録を行い、一人ひとりがテーマをもち、観察会後の発表会で自分が学習した内容について発表を行った。 4）日本野鳥の会滋賀支部や滋賀県立琵琶湖博物館と協働し、県内愛鳥モデル校との交流を始めた。

鹿児島県	屋久島町立 小瀬田小学校	1）ツマベニチョウに視点を当て、地域の方と協力し飼育舎「ツマベニハウス」を建設・整備し、ツマベニチョウの飼育活動を教育課程に位置づけ、発生過程の学習や体験を通して命や屋久島の自然を大切にする気持ち・態度を育んだ。 2）近親交配解消や情報交換のために、屋久島おおぞら高校と蝶の交換や高校生や関係者と交流を行った。 3）平成 30 年 7 月に行われた「学校の森子どもサミット」（福井県）で研究発表を、令和 4 年 2 月に行われた「世界遺産学習全国サミット in 屋久島ポスターセッション」では実践発表を行った。

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（3 件）

◆個　人

都道府県	被表彰者
北海道	多治見　恵美
埼玉県	嶋田　さとし
鹿児島県	大山　倖市

8. 環境省自然環境局長感謝状

鳥獣保護管理員等（44 件）

都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者
北海道	梅原（うめはら） 順一（じゅんいち）	千葉県	地曳（ちびき） 芳幸（よしゆき）	奈良県	鍛川（かじかわ） 正喜（まさよし）
北海道	道下（みちした） 志郎（しろう）	神奈川県	石原（いしはら） 和美（かずみ）	岡山県	岡田（おかだ） 隆志（たかし）
北海道	谷内田（やちだ） 龍司（りゅうじ）	新潟県	関谷（せきや） 安則（やすのり）	長崎県	久保（くぼ） 和義（かずよし）
青森県	成田（なりた） 信一（しんいち）	新潟県	保坂（ほさか） 精一（せいいち）	長崎県	長崎（ながさき） 章（あきら）
岩手県	石川（いしかわ） 和見（かずみ）	新潟県	安井（やすい） 清（きよし）	宮崎県	本部（ほんべ） 雄司（ゆうじ）
岩手県	栗木（くりき） 時男（ときお）	新潟県	山本（やまもと） 勝久（かつひさ）	鹿児島県	竹之下（たけのした） 良二（りょうじ）
岩手県	鈴木（すずき） 欽勝（よしかつ）	新潟県	吉澤（よしざわ） 友一（ともいち）	鹿児島県	田中（たなか） 茂樹（しげき）
岩手県	千葉（ちば） 時男（ときお）	石川県	引地（ひきじ） 正和（まさかず）	鹿児島県	前田（まえだ） 正道（まさみち）
宮城県	戸島（とじま） 直子（なおこ）	福井県	近藤（こんどう） 則男（のりお）		
福島県	岩間（いわま） 甚榮（じんえい）	福井県	澤崎（さわざき） 貢（みつぐ）		
福島県	小沼（おぬま） 清一（せいいち）	福井県	藤原（ふじわら） 吉宏（よしひろ）		
福島県	小関（こせき） 俊美（としみ）	長野県	小林（こばやし） 桂子（けいこ）		
福島県	柴崎（しばさき） 満（みつる）	静岡県	秋山（あきやま） 旭（あきら）		
福島県	吉田（よしだ） 孝（たかし）	静岡県	鈴木（すずき） 震太郎（しんたろう）		
群馬県	関（せき） 邦一（くにいち）	静岡県	辻（つじ） 光夫（みつお）		
群馬県	寺内（てらうち） 浩（ひろし）	静岡県	横山（よこやま） 博（ひろし）		
埼玉県	吉澤（よしざわ） 宏信（ひろのぶ）	滋賀県	幸野（こうの） 敦弥（あつや）		
千葉県	池田（いけだ） 明（あきら）	京都府	山口（やまぐち） 芳喜（よしき）		